

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
ビジネス	2 単位 理論経済	ミクロ経済学Ⅱ	松田 慎一	2 年次	春

授業のキーワード	家計、企業の経済行動、市場均衡、完全競争市場
授業の概要	ミクロ経済学は、家計や企業の合理的な意思決定に基づいて、希少な資源の配分を決める学問です。授業目標は、家計と企業の行動に基づいた完全競争市場について理解できるようにすることです。
期待される学習成果（目標）	ミクロ経済学基礎（ミクロ経済学Ⅰ）を履修済みで、その基本的内容について理解があることが必要です。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	イントロダクション	授業概要の説明と、ミクロ経済学とはどのような学問であるのかについて解説します。	第 9 講	企業の行動	企業の経済行動について説明をします。
第 2 講	需要と供給	ミクロ経済学基礎の確認を行います。	第 10 講	企業の利潤と利潤の最大化（1）	企業の利潤最大化行動について説明をします。
第 3 講	均衡と市場メカニズム	ミクロ経済学基礎の確認を行います。	第 11 講	企業の利潤と利潤の最大化（2）	企業の合理的な選択とは何かについて説明をします。
第 4 講	消費者の行動（1）	消費者の予算制約について説明をします。	第 12 講	損益分岐点と操業停止点（1）	損益分岐点と操業停止点の経済的な意味について解説を行います。
第 5 講	消費者の行動（2）	消費者の効用、無差別曲線について説明をします。	第 13 講	損益分岐点と操業停止点（2）	損益分岐点と操業停止点の経済的な意味について解説を行います。
第 6 講	消費者の合理的な選択とは	消費者の最適消費について説明をします。	第 14 講	完全競争市場	完全競争市場とは何かについて説明をします。
第 7 講	所得と価格の変化	最適消費と所得や価格の変化について説明をします。	第 15 講	まとめ	この授業で解説した内容の総括を行います。
第 8 講	需要の価格弾力性と所得弾力性	価格弾力性と所得弾力性について、より詳細な説明をします。	定期試験		授業内容に基づいた記述式の筆記試験を行う予定です。
評価方法		授業貢献度と課題を 40%、期末試験を 60%として総合点数により評価します。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
			スティグリッツ/ウォルシュ『ミクロ経済学』第4版 東洋経済新報社 マンキュー『マンキュー経済学（1）ミクロ編』第3版 東洋経済新報社 伊藤元重『ミクロ経済学』第2版 日本評論社		